

スタジアム整備検討に係る候補地選定等の今後の方向性

1 本市としての候補地選定の方向性

本市としては、今回の候補地調査業務における費用面、時間軸での比較検討結果や、6月議会での論議、関係団体との意見交換の状況等を総合的に勘案した結果、県立鴨池庭球場敷地等を候補地として検討を進めることとし、鹿児島サンロイヤルホテル敷地等は、検討対象から除外する。

2 県立鴨池庭球場敷地等を候補地として検討を進める理由

(1) 調査に基づきメリットがあることが確認できたこと

- ・ 今回の調査における2か所の概算整備費やスケジュールを比較し、県立鴨池庭球場敷地等の方が費用面や時間軸においてメリットがあることが確認できたこと。
- ・ さらに、時間軸に関しては、人件費、資材費、金利等が上昇傾向にあり、今後も続くと思われる状況下においては、早期にスタジアム本体工事に着手することが、費用面のメリットにもつながること。

(2) 関係団体等から検討を続けることについて概ね了承を得られたこと

- ・ 県立鴨池庭球場敷地等が候補地になった場合には、具体の整備内容や同庭球場の移設に係る諸課題について意見交換を重ね、より良い整備を目指し検討を継続していくことについて、競技団体・文化芸術団体等から概ね了承を得られたこと。

3 「稼げる」スタジアムの考え方（多機能化・複合化）

これまで、過去の提言（平成30年1月 サッカー等スタジアムの整備に関する提言書）も踏まえながら、多機能複合化による「稼げる」スタジアムを可能な限り目指してきたが、今回、費用面、時間軸の観点、また、敷地の状況などを総合的に勘案する中で、上記1のとおり候補地選定の方向性を示すに当たり、以下のとおり、あらためて考え方を整理することとする。

(1) 多機能化について

スタジアムのピッチや諸室等を多用途に活用する「多機能化」については、稼働率、収益性向上の点から、今後、基本構想・基本計画など検討の段階に応じて、ホスピタリティボックス等（スカイボックスやラウンジ、コンコースなど）を、地域交流活動や県内各地の魅力発信、企業活動の場として活用するなど、民間の意見なども聴取しながら、具体の整備内容の検討を行う。

(2) 複合化について

スタジアム敷地内においてスタジアム本体とは別の独立した商業施設等と組み合わせる「複合化」については、県立鴨池庭球場敷地等の場合、活用可能な敷地の確保が難しいことや、可能な限り整備費の縮減に努める観点から、検討は行わない。

なお、複合施設については、スタジアム整備にあたって活用を想定している社会資本整備総合交付金の適用が難しい。

(3) 上記(1)(2)を踏まえた「稼げる」スタジアムの考え方

・多機能化などによる将来的に持続可能なスタジアム

ランニングコスト縮減の観点から、多機能化などによる稼働率、収益性の向上を目指し、今後、検討の段階に応じて、民間力の活用などを念頭に置いた持続可能なスタジアム運営のあり方について、広く意見を聞きながら検討を進める。

・中心市街地等への回遊性向上によるまちの新たな賑わい創出

スタジアムは、スポーツ観戦などを通じて、人と人とのつながりや交流が生まれ、新たなコミュニティを創出し、まちに賑わいや活力を生み出す拠点となることから、今後、コンセプト等を整理していく中で、中心市街地や周辺商店街等との回遊性向上により地域への経済波及効果を高める方策について、クラブや民間事業者等と連携した取組を検討していく。

4 今後の対応

・スタジアムの整備検討に当たっては、これまで、本会議等での質疑や予算に係る附帯決議において、候補地の選定を最優先に、また、早急に取り組むよう市議会からご指摘をいただいていたところであり、引き続き、その趣旨を踏まえて取り組んでいく。

・県においては、候補地選定にあたって、令和8年第2回県議会定例会で「今後、市において、市議会での論議を経て、考え方を整理していただき、その上で、県にも説明があるものと考えている。県としては、市の説明や県議会での論議を踏まえ、今後の対応を検討していく。」旨を答弁されている。

・このため、候補地選定に係る本市の方向性や今後の検討の進め方等について、令和8年第3回市議会定例会において論議をいただき、その結果を踏まえた上で、本市の考えを県にお伝えしたいと考えている。

・本市としては、その後、県議会での論議を踏まえた上で、県の考えが示され、最終的には、県市で協議し候補地を選定することになるものと考えている。

・上記1の方向性のとおり、県立鴨池庭球場敷地等にスタジアムを整備し、庭球場を文化公園に移設する場合に生じる諸課題（周辺の交通への影響、移設後の庭球場の仕様、文化公園のモニユメントの取扱い、川商ホール駐車場への影響など）への対応については、引き続き、関係団体等からの意見聴取を続けるとともに、民間事業者を含む専門的な知見も活用した検討が必要であることから、過去の附帯決議の趣旨等を踏まえ、候補地選定後、基本構想・基本計画など検討の段階に応じて、具体化を図っていきたいと考えている。

・また、基本構想・基本計画の策定など検討を進めるにあたっては、スタジアム整備や運営における役割分担、費用負担などオール鹿児島 of 具体的な枠組みについて、県や関係団体と協議を進めていく必要があるものと考えている。

スタジアム候補地調査業務

報告書

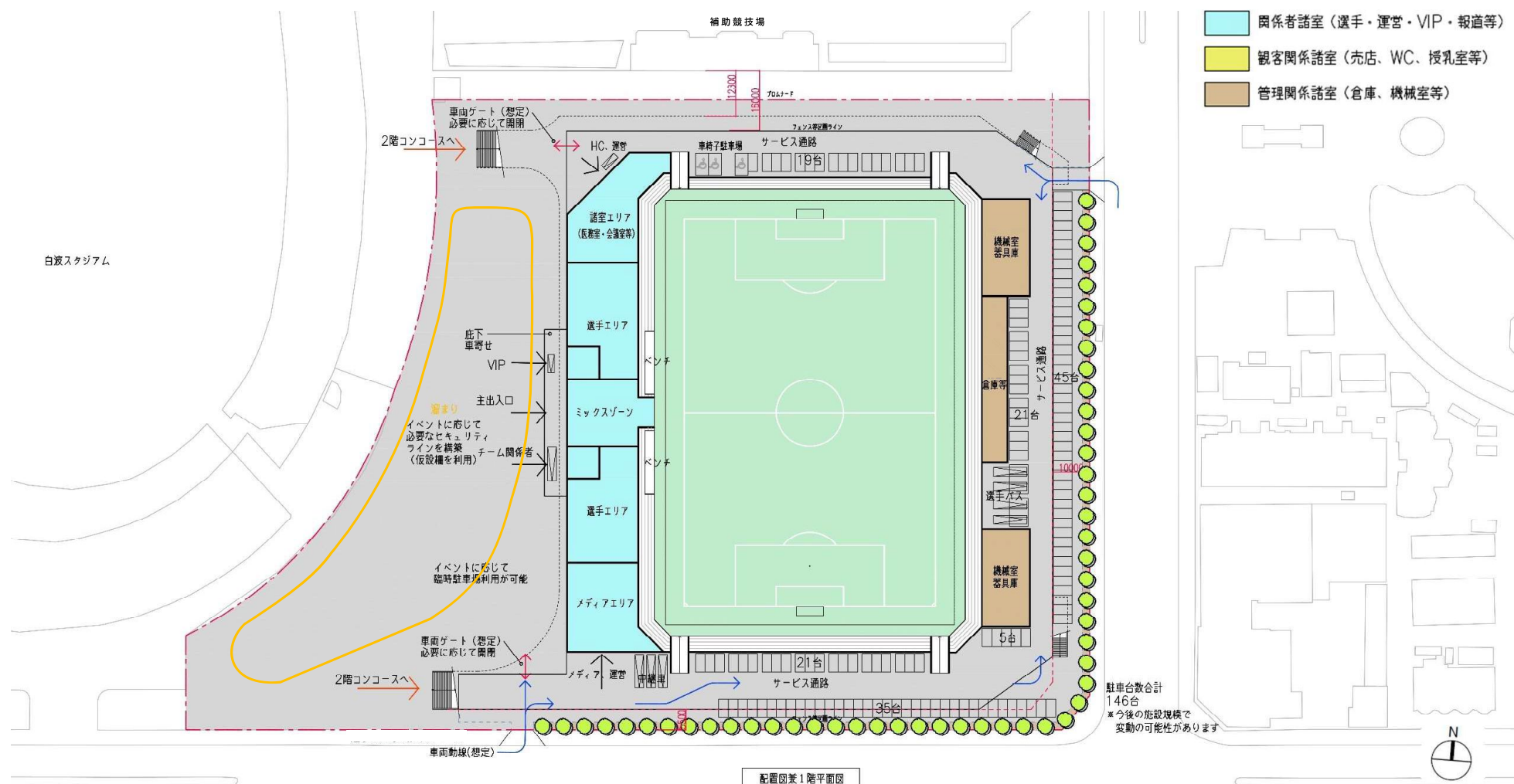
令和8年5月

4.各敷地における施設整備イメージ

(2) 県立鴨池庭球場敷地等及び文化公園敷地等

①配置計画

- ・フィールド長軸を南北軸とし、メインスタンド(西側)及び両サイドスタンド(南北)は2層式、バックスタンド(東側)は桜島への眺望に配慮し、1層式として計画する。
- ・敷地に対して、南東側にスタジアム施設を配置し、施設北側及び西側において、公園内通路の幅を最大限確保する。
- ・歩行者動線について、メインのアプローチ動線は、公共交通機関(市電：騎射場電停等)や県庁駐車場との位置関係を考慮し、敷地の南西側を想定する。
- ・車両動線について、メインスタンドの西側に車寄せを設け、駐車場及びサービス動線は両サイドスタンド及びバックスタンドの下部(地上レベル)に確保する。



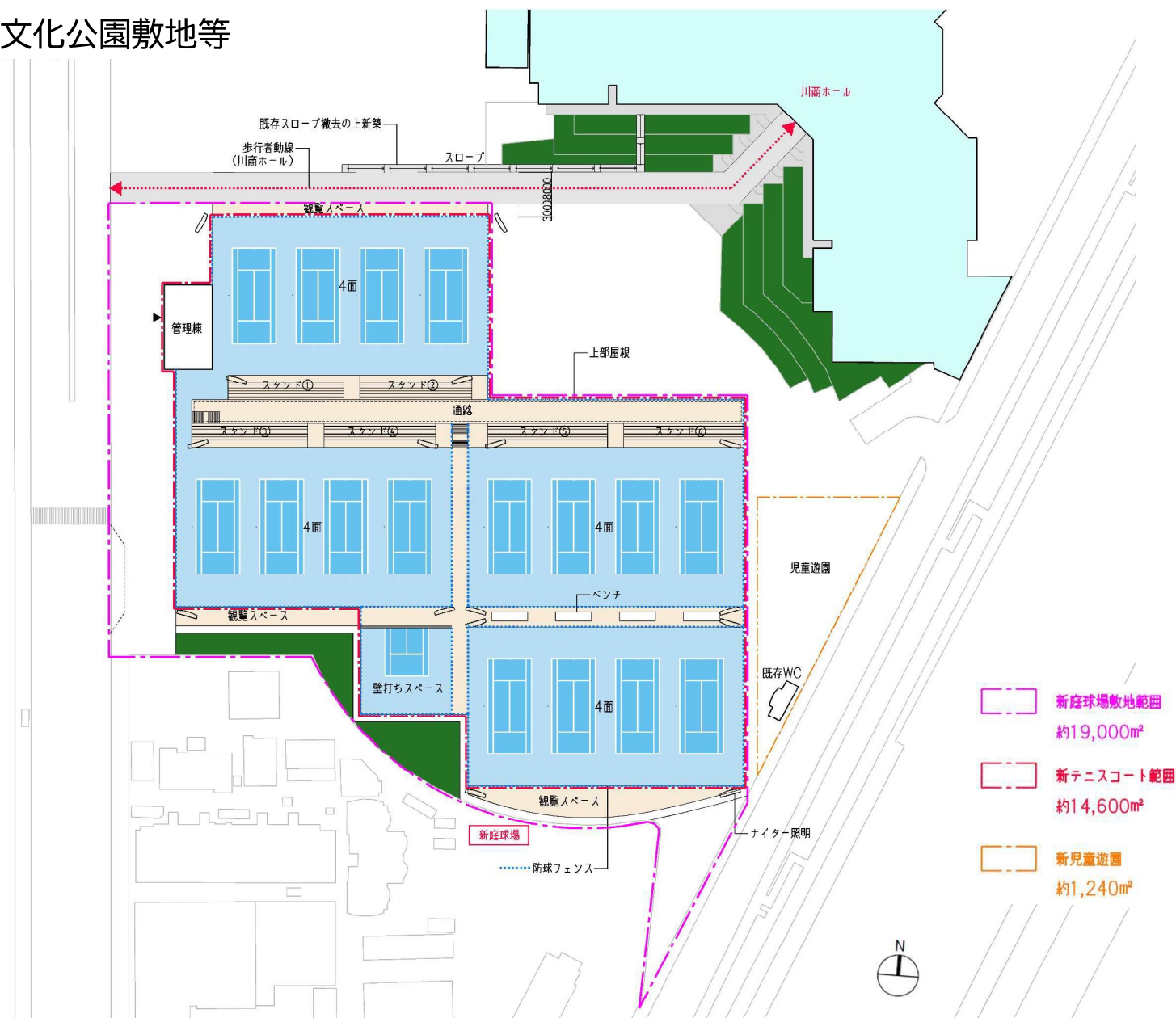
4.各敷地における施設整備イメージ

(2) 県立鴨池庭球場敷地等及び文化公園敷地等

⑤新庭球場配置計画

【配置計画の方針】

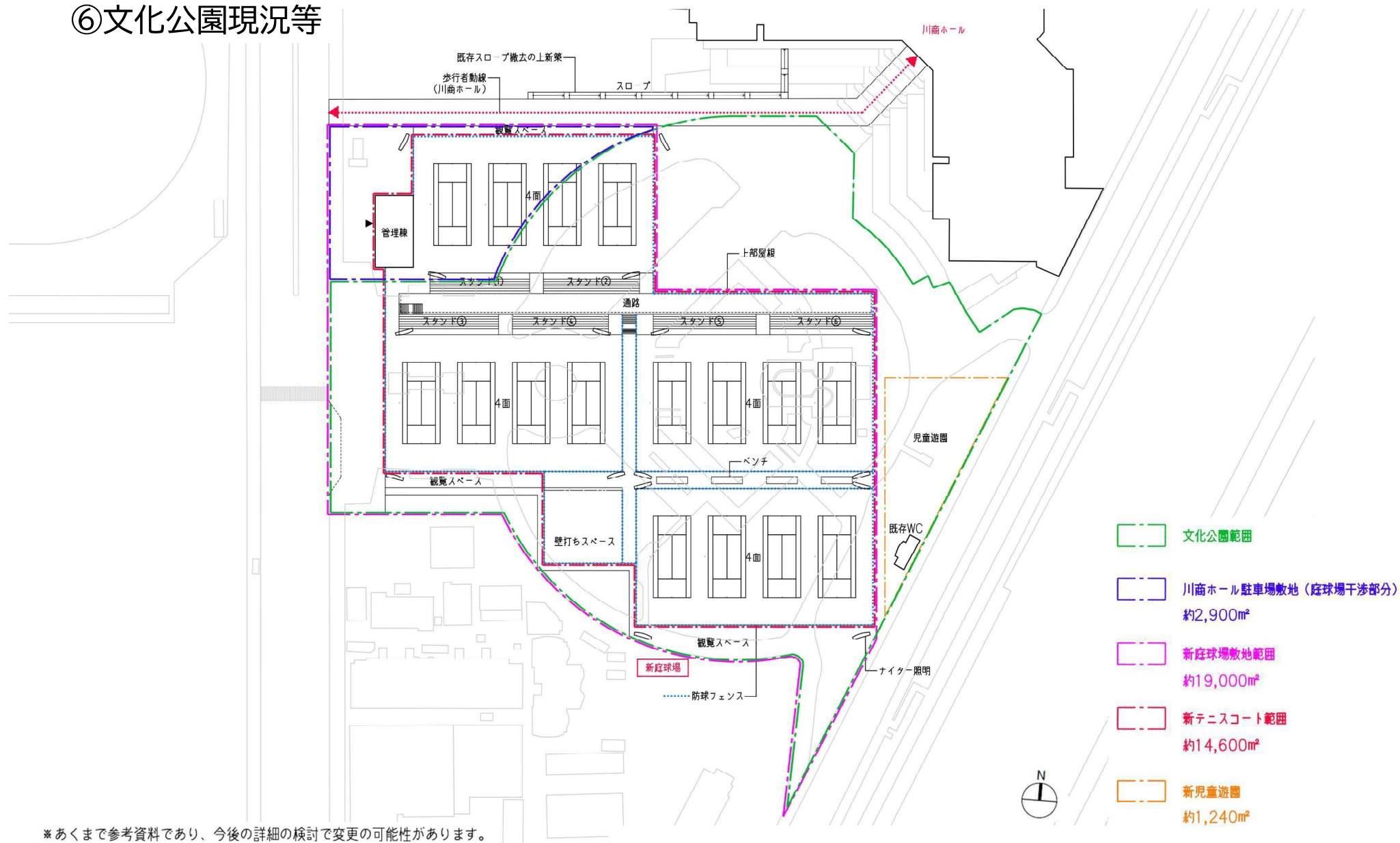
- コート長軸を南北軸とし、合計16面を配置する計画である。
- 敷地形状にあわせて、北側に4面、中央に8面（4面＋4面）、南側に4面を確保する。さらに、南西に1箇所壁打ちスペースを確保する。北側コートと中央コートの間には、スタンドを確保し、屋根付き通路を設置する計画とする。
- 新庭球場の管理棟は、メインのアプローチ動線を考慮して、敷地北西に配置する。
- 隣接する川商ホールへのメインのアプローチ動線は、新庭球場北側に再整備する計画とし、西側道路から川商ホール出入口まで、円滑に移動できる経路を確保する。
- 新庭球場の配置計画を踏まえて、児童遊園について一定の面積を敷地東側に確保する計画とする。



4.各敷地における施設整備イメージ

(2) 県立鴨池庭球場敷地等及び文化公園敷地等

⑥文化公園現況等



4.各敷地における施設整備イメージ

(2) 県立鴨池庭球場敷地等及び文化公園敷地等

⑦外観イメージ



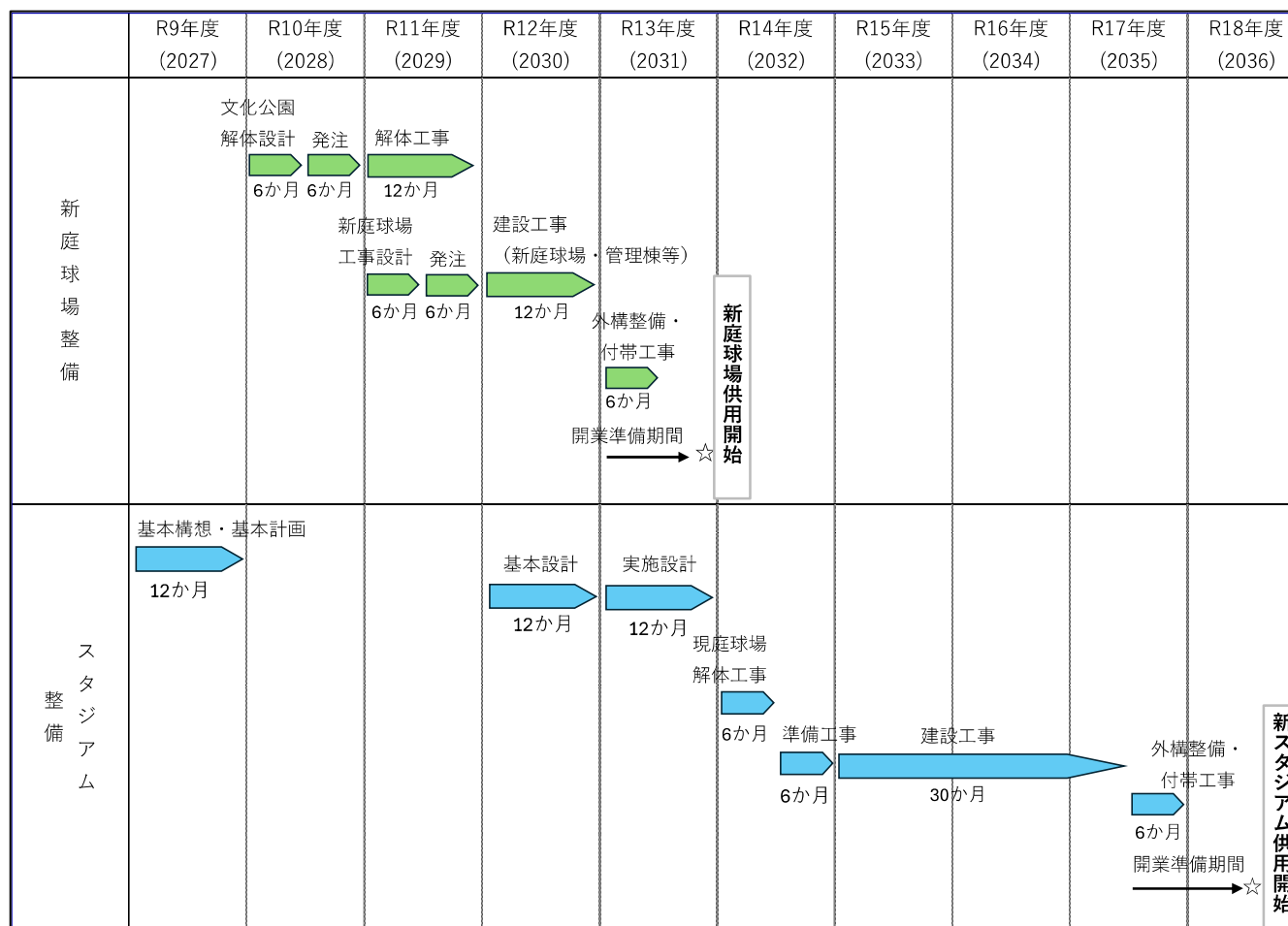
〈南西側からスタジアムを望む〉

6. 工事期間

(2) 県立鴨池庭球場敷地等

【前提条件】

- 文化公園の解体は、スタジアム基本構想・計画の策定後とし、新庭球場の供用開始後、現庭球場の解体着手となること。
- 川商ホール駐車場敷地に庭球場敷地が干渉する部分について、都市公園への編入手続き及び地区計画の取扱いが整理されること。
- 県市において関係条例の改正(建ぺい率等の見直し)が行われること。
- オール鹿児島の実体の枠組みが整理されること。
- 整備手法は従来型方式で想定



※ 以上の前提条件を踏まえ、最速で手続きが進んだと仮定した場合、スタジアムの供用開始は、令和18年ごろが想定される。

7. 調査結果を踏まえた比較(まとめ)

(1) 費用面

項目	鹿児島サンロイヤルホテル敷地等	県立鴨池庭球場敷地等	比較
概算整備費	293億円 (286億円～301億円)	215億円 (207億円～222億円)	- 差額：78億円 - 県立鴨池庭球場敷地等は7割程度に整備費を抑えられる
スタジアム関係	187億円 (179億円～194億円)	187億円 (179億円～194億円)	
土地取得費	106億円	不要	県立鴨池庭球場敷地等は市有地のため土地取得費が不要
庭球場移設費	不要	28億円	鹿児島サンロイヤルホテル敷地等は不要

※表中の数字は四捨五入の関係で合計と一致しない

- 注1) ホテル以外の既存建物に係る移転補償等の経費、また、ホテル敷地等の土地取得に係る不動産鑑定評価等の経費が別途必要になる。
 なお、ホテル自体の解体費及び舗装撤去費等は含まない。
- 注2) 庭球場の移設にあたっては、平成30年改修時に国庫補助金を活用していることから、返納の取扱いについて整理する必要がある。

(2) 時間軸

項目	鹿児島サンロイヤルホテル敷地等	県立鴨池庭球場敷地等	比較
スタジアム供用開始時期 (想定)	令和20年ごろ	令和18年ごろ	県立鴨池庭球場敷地等がおおよそ2年早い

- 注1) 鹿児島サンロイヤルホテル敷地等は、街区内に7者の地権者がおり、土地の売買交渉に時間を要する可能性がある。